

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	環境生活総務課	氏名	安達道子
派遣先 団体名	NPO法人 緑と水の連絡会議		

① 研修の日時  
平成28年9月12日(月)～14日(水)

② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

**NICE国際ワークキャンプボランティア(※)への参加**

※国際ワークキャンプとは、国内・海外で世界の仲間や住民と一緒に、地域のために動く「合宿型ボランティア」。日本を含め、世界約95カ国、3,000カ所で開催。渡航費・旅費は参加者負担、受け入れ側が宿泊場所・食事を無料で提供。森の手入れ、子ども・難民等の手伝い、トイレの建設、アート作成など。通常1日6～7時間働く。NGO NICEが事業を行う。NPO法人「緑と水の連絡会議」は、同キャンプを10年前から受け入れている。2週間の日程で地元住民と共に、海岸清掃やペンキ塗り、お寺での清掃活動・宿泊、ワサビ田整備、地元お祭りへの参加などを行う。

■参加日程等  
2週間のメニューの内、最初の3日に参加。

◎ 9/12(月) オリエンテーション、ウェルカムパーティー  
◎ 9/13(火) 石見銀山沖泊の海岸清掃、温泉津温泉  
◎ 9/14(水) グループホーム七色館のウッドデッキペンキ補修、草抜き

※会話は極力英語。  
※合宿形式。宿泊は参加者と共に「ほっとスペースゆきみーる」。  
※食事はグループ毎の当番制で調理、片付け。

■参加者 17名(キャンプ開始時)

- ・参加メンバー…8名  
クロアチア、スペインなどの海外4名、日本の学生等4名。ほぼ20才代。  
リーダーは日本の学生。
- ・他学生インターンシップ…2名、キャンプ経験者ボランティア…1名
- ・NICEスタッフ…1名、緑と水の連絡会議…3名+1名(ドイツからの中期ボランティア)、
- ・県職員…1名

■詳細

◎ 9/12(月) オリエンテーション、ウェルカムパーティー

参加者が到着するとグループ分けがされ、各自部屋へ。しばらくしてからオリエンテーションが始まりました。日本の学生のリーダーが緊張しながら日程などを説明。自己紹介やゲームな



どを行い、コミュニケーションを図りました。休憩タイムにはスマホで写真を見せ合い交流。海外組は各国を回ったり日本各地を歩いたりしています。日本の学生は夏休みを利用しての参加です。

キャンプ開始日の晩餐は、スタッフがおもてなし。緑と水の連絡会議が館内で運営している「青少年の居場所」のキッチンを借りて食事の準備。スタッフの方お手製のかぼちゃの煮物やサラダ、お酒など

を出していただき、和やかに楽しみました。

### ◎9/13(火) 石見銀山沖泊の海岸清掃、温泉津温泉

朝6時に朝食準備、7時朝食。

朝食は、学生さんがハムなどを焼き、昼食用のおにぎりは写真のスペインの女性(デザイナー)とたくさんつくりました。一生懸命ぎゅうぎゅうに三角のカタチをつくっていてかわいらしかったです。



8時に出発し、銀山遺跡で大田市教育委員会や地元NPO法人などと海岸清掃。清掃前には石見銀山の説明やお社に参拝。清掃はワークキャンプ参加者がゴミを拾い、地元の方が機械で草刈り。海岸の泥などもかきとり、終了時には草ボウボウ、泥や流木、発砲スチロールなどで汚れていた広大なエリアがすっかりきれいになりました。

この模様はNNKテレビや山陰中央新報などでも報道されました。



お昼は温泉津窯でお弁当。海岸を散歩してから市職員と共に温泉津温泉へ。散策中に道路工事で戦国時代の遺跡が出てきたとの解説を受けました。海外組はもちろん、日本組も温泉津の歴史や温泉体験を喜びました。

夕食は当番グループが用意し、各自洗濯などを行い、10時頃からみんなで集まって明日のカフェでの発表の準備、その後ゲームが繰り広げられ、深夜まで笑い声が響きました。

### ◎9/14(水) グループホーム七色館のウッドデッキペンキ補修、草抜き



朝食後、8時からグループホームのウッドデッキの補修です。

作業前に職員さんの朝礼に参加させてもらいました。

作業はまず床を拭き、ペンキを二度塗りしました。

完成後は刷毛やバケツを洗って、駐車場の草抜きです。

### ③ 研修の感想

参加者はほぼ20代と若くて元気。国籍に関係なく話し、働き、笑います。それぞれにドラマがあり、若者の特権の「旅」の途中で、澁刺としていて楽しかったです。世界中でのこのような交流などによって、平和な未来を築いてほしいと感じました。

また、ホストのNPO法人「緑と水の連絡会議」の皆様が楽しそうにお世話されているのが印象的でした。和田事務局長によると「10年前から始めて今回で20回目。世界中にいっぱい友達ができ。続けていく。楽しい！」とのこと。

メニューは市役所や学校、温泉街、お寺や商店街など、たくさんの地元の方々に働きかけて、参加者や地域のことをよく考えて企画されています。特に年一回の商店街でのお祭りへの出店(今年は焼きそば)は子どもたちも楽しみにしているとのこと、ブログなども拝見し、地域と一体になっている様子が感じられました。

行政や学校、地域とも自然に「協働」しておられて、「協働」でこういう在り方なのかと感じたと同時に、このような関係を年月をかけて築いてこられたのだなと思いました。

今回の研修は参加者との交流などを含め、貴重な経験となりました。またNPO法人「緑と水の連絡会議」は「青少年の居場所」の運営など多くの活動をしておられ、地域にとって必要な法人であると感じました。キャンプ参加費などの収入はない中でこれだけの企画をし、継続しておられることに驚きましたし、NPO法人を設立しここまでの団体にし、維持すると共に、次世代への継承を考えておられることは、素晴らしいことだと思います。

最後になりましたが、3日間しか参加できず勝手ばかりで申し訳ありませんでしたが、

受け入れてくださった「緑と水の連絡会議」の皆様、参加者や地域の方々に感謝申し上げます。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)